

NO. 276

平成20年5月28日

宇工高だより



発行 山口県立宇部工業高等学校

編集 教務部

URL <http://www.ube-t.ysn21.jp> E-メール ube-t@ysn21.jp

今回の宇工高だよりでは、教務部からいくつかのお知らせをします。

1 工業高校で学ぶということ

生徒の皆さんはなぜ本校に入学しましたか。「工業の勉強がしたいから」、「中学校の先生や親の薦めがあって」、「部活の関係で」、など理由は様々でしょう。ご存じのように資源の乏しい我が国は原料を輸入して、主に工業製品を輸出する工業立国です。戦後目覚ましい発展を遂げて経済大国となった我が国の成長に工業高校出身の先輩方が大きく貢献していることは言うまでもありません。

本校の生徒を含め工業高校で学ぶ生徒達は、将来「ものづくり日本」を支える重要な人材となります。本校も今年度に入って、「ものづくりコンテスト・電気工事部門」の県大会で優勝するなど、「ものづくり教育」で成果をあげています。恵まれた教育環境の中で自信と誇りを持って、これからも目まぐるしく変化する工業技術や社会に対応できる能力や考え方を本校で学んで頂きたいと考えています。

さて話は変わりますが、先般本校の卒業生の方々とお話しする機会がありました。その方達が最近入社する本校の卒業生について、挨拶は良くできるが、工具の名前など工業高校卒業生としての一般知識が不足していると言われていました。生徒の皆さんは座学はもちろんですが、実習にも一生懸命取り組んで、工学舎（たくみのまなびや）を巣立つにふさわしい工業人として成長することを願っています。

2 基礎学力について

1年生は本校に入学して2ヶ月が経ち、高校生活にも慣れてくる時期です。2,3年生は勉学や部活等で忙しい高校生活を過ごしていると思います。

さて、本校は工業高校ですので、卒業後多くの生徒が就職します。社会生活を送るうえで、一般教養や工業に関する専門的な知識・技能が重要となります。本校在学中の3年間でその知識を習得することになりますが、基礎学力が不足していると本校で学習する内容の理解の妨げとなります。現在基礎学力の不足を感じている生徒の皆さんは漢字や英単語、基礎的な数学など家庭学習の習慣を身につけて習得して頂きたいと考えています。

3 出席状況

平成16年度は年度当初から遅刻・欠席が非常に多く、PTA 役員会や学校評議員会でも指摘されたりしましたが、現在はやや落ち着いた状況になってきています。

いつも言われることですが、欠席や遅刻の多い者は就職試験でも不利であり、日頃の生活習慣が反映されることでもあります。ご家庭でもご指導をお願いします。

(参考 数値はすべて全校延べ人数です。)

平成16年度	4月	遅刻	140	欠席	115
平成17年度	4月	遅刻	42	欠席	80
平成18年度	4月	遅刻	33	欠席	90
平成19年度	4月	遅刻	15	欠席	59
平成20年度	4月	遅刻	22	欠席	67

4 少人数指導について

現在、英語・家庭・工業などの教科の中で特に実技などを伴い、習得に差の出る可能性のある科目において複数教員の担当による少人数指導を実施しています。これにより、一人ひとりの生徒の実情に応じた指導を行い、より確かな学力の定着を目指しています。

5 保護者個人面談について

本校では、一学期末に成績・進路・その他について、家庭とのより密接な連携をはかるため、個人面談を実施しています。今年度からはより多くの保護者の方に参加いただけるよう、7月16日(水)午後と7月17日(木)の終日、2日間で実施する予定です。

1 学期の主な行事

6月2日(月)～6月6日(金)	個人面談週間
6月11日(水)	工場見学
6月25日(水)	サイバーセキュリティカレッジ (案内文書は後日配布します)
6月30日～7月5日	期末考査
7月16日(水)午後～	保護者個人面談
7月17日(木)	保護者個人面談